(皇帝の言)本年1月5年1ル影響に智が教えく絵の報音報を観視と歌歌されたが、全殿長くも上聞に達露がの姿だされた(書庭=神戸中歌月) では、古月十六日十六日十八日 では、一川 には、一川 では、一川 には、一川 では、一川 では、一川 では、一川 には、一川 には、一川 には、一川 では、一川 には、一川 には、 には、一川 にはいいは、一川 には、一川 には、一川 にはいは、一川 にはいいは、一川 にはいは、一川 にはいいは、一川 にはいは、 にはいは、 にはいいは、 にはいいは、 にはいいは、 にはいいは、

右の行動は旺概なる攻頼御神と仏際の借究を駆得し職及を極心とする繁輝十三日西院主力をして顧を排泄するに至らしめたり半三日西院主力をして顧を排泄するに至らしめたり

り威狀を授興せられ右の旨上聞に達せられたり海軍航空隊○○派遣隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通海軍省公表 (千六皇後) 中井海軍大尉の指揮せる○○海軍航空隊○○派遣隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通

長兵獨力・犠牲顧みぬ海鷲魂

顯忠 著烈

出現するや春兵職力をもつて物味を顧みず、鬼獄県対対機断路和十七年二月一日敵米國機動部隊のマーシャル戦闘力顧に

昭和十七年十月十六日

ħ.

運搬隊 〇〇派遣隊 中共通軍大尉の指揮せる〇〇、

と駆け、仍て盗に厥説を懲更すを攻撃してこれに撤<equation-block>を受人を駆逐したるなるの史表願著なり

感狀上聞に達す

本班の布安公職是首都は東方大使 れ在安各公使および解す職(総職等)「東京電話)在安全機関が大車部 「火き靴は名棚間の総合により大阪化合料では、東京電話)在安全機関が大車部 「大き靴は名棚間の総合により大

在支公館長會ひらく 事、飼事など)に對する直総指揮

對支政策の處理 迅速且つ强力に遂行

れその企関も空しく敗退したの

當所株の上場

急所 (血壓中樞) に特殊ホルモン

古もづれ、半身不覧に

高品 早初為然

を持つて歸る
將來の見透し

敵機を撃墜

敌大• 泉渠

が理解していてい 完全消 三。八〇〇錠入 二,500

房藥拌新目丁二級門人兩門城京元實販鮮朝 部藥製 社會式松業實 淵鍾 简明福井天

食慾增進

る政策攻戦を断確し逐次に包盤の旅戦をもつて戦争を先戦にわが解決内に裁って日東被化戦隊を非ふ、千能の戦の疾動を勢くぶやまづその戦自戦の戦励ない。1十能の戦の疾動を勢くぶやまづその戦自戦の戦励と、1十 電航運戦に戦闘・陸し附近に端として以れている。2年まづたの戦の旅跡を戦闘し、ついて撃二十日アチール、諸四右は伊勝戦略主力方能右攻戦隊として昭和十七年二十二十日テチール諸四右は伊勝戦略主力方能右攻戦隊として昭和十七年二十二十日テチール諸四右は大戦を訴令が終める。 旧倍の敵を降す

|月世日表明尚縣西南歌海部別 七時後期の如く韓軍幅なわが両地/ン剛定の観ぶ路画版を命ぜら これに粛歴の萬冬を期した。午前歌歌ぶ上刃の石珠艦隊としてク | 長は傷を吹せて象定の配御を完了、1中総立テモール臨攻総に落り一概仏物隊東議中との教に総しを隊

懲よ今議會提出

決閣 定議

体記しずの際語

大日の 関節において 爾斯頓自より 津細燃明の こうとれを決定、午後四時 照報原よりこれが法律(歌声類)芝葉とした。これによつて今(東京電池) 改善な長時間主義、長師金鵬機働の職立の見地から今輩書に対し 日本領債拠款(作)所(配職)法数を 握出することに決し、

取引所(聚稱)法律案要綱發表日本有價證券法律案要綱發表

引所(職)法案要綱 日本有價證券取

せらるべき作戦への強制を兼ね

方南においてはニ

に敵の脳形二十胎災を撃汾時、

將兵の心を心こせよ

一概あるとを忘れてはなら なほれた解題せざる飛行

盛にして、撃して前ញ発兵の上

の大財優、唯に空の要無と時む機烈を極め、その後も明確言に

ける陸上

【東京報話】 概くも 天皇座下には十七日 聴しく顔奈川欧和武 谷の陸流十宮県夜に行平めらせ られる間仰出された 天皇座下

関報語資体十七日午後二時から節 どの 優施に関する 勅令案契縛 【東京報語】第二十四回詞家総動 一、路間第八十五號、駐推證明な

けふ國家總動員審議會

二諮問案を審議

帽集する敵戦闘機を排除

攻撃数次、敵空母を撃退

蒙古、二省を新設

第 10年180年100年 婦人科化膿症・淋疾 歯槽膿瘍・外傷化膿 ・ 外傷化膿

萬全を期す

大藏當局談

損傷艦船ジブ

に配数一隻、緊急は一気、酷得でよれば十五日の鬼」ラリニヤ ラルタル入港

疲 変 充 トラ 族 ホル・

目目症血ム炎

藥限正純

豫防と治療に め、眼の性を良くしますから、危険 同時に眼の疲勞を解消して視力を強 合作用は、眼疾を快適に治療します な眼疾に罹るのを未然に防ぎます。 救菌・消炎・鎮痛・收飲の優秀な綜

店商國王 影會式終 ② 店頭門猿

は花にあらはれにけり

激頻政

みやま木のその梢とも見えざりし櫻

などには今時代性々といふも めらうっ

よつて相違するものではな

が、精神だけは、時代を超越

ふところを明かにした。 堂の正しい 御窓続に あらせ給を著述し、 吉野に在します星

島進后といはれたが、野心な

電影を加へるに及び外邊的く あ土の群に投じた。第府が六

この敵は陣中訟であつて、

日本人の持つ精神は、時代

時代と日本精神

として、陳中で、神是正統記

をし、外國の艦艇が復來しては愈よ朝廷の御傷に起つ決心

近衞忠照の知識を受けてかし

[六]

漫國百人一首

降る雪の白髪までに大君に降る雪の白髪までに大君に

れば貴くもあるか

心祠館において終るしく歌館館する鍛成、時間認識の徹底など

支店長會議

であつて増削時間における増配目

地下資源增產强調

踬業に科學陣總動員

成結會員委究研

戦事下、東欧はあらゆる最悪をはびってに行い、 について』と歌する瞬间があり、 について』と歌する瞬间があり、 について』と歌する瞬间があり、

食料小賣商組 十九日理事會

鉛管鉛板類の

京城新炭創立總會

林回寶組合理事長)▲

大東亞戰

京畿道、京城府からも夫々開館で開催、株主七百五名に総務府、 日午前十時三十分のら京城府民能

▲河石川推造《府會議員》)◆監 春後山本平三(京城然科小賣路 組含受)◆河梁川在孙(府會議員)

御相談は弊社へ國策株式投資の 周

盖

L 富計政局代表の5131番 ---

大東亞戰爭第二年

(8)

なる暁

同配給の第全を期し食種不平の

説明を行ひ、別つづき年後一時か話を述べ看他緊發制に並れる様は

増産を迅速に遂行せん

生産擴充增强委員

選絡にあたること、なつてゐる

(東京電話) 戦歌下急級攻害之間 | 改議委員會結成 | 改議委員會結成

後級のもとに、十六日平前一時半一下に原木の養院総裁を委員長とし後級のもとに、十六日平前一時半一下に原木の養院総裁を委員長とし

を総裁とする食権関防旗中央防護衛を継くものが多いので共野盛州

展開したが、脚川中における蟾蚕 一郷に一郎 調山 象形部調池 一郷に一郎 調山 象形部調池 一条に一郎 調山 象形部調池 一条に一郎 調山 泉町部 調池 0)

に基き石油流側南部が設立される朝鮮においては経路府の指示 銀券發行膨脹

できたいた。 できた (本語) 一日 (報子放発・彩顔を発症を、文面側、臓師なり日本に人際学を変異、郷 十十日 (大きなの) でくないおいる (おいて) (大きなの) でんないのでくないおいる (おいて) (大きない) (千萬台に迫る

深川戦心を原域のみで行つてゐた。注目される、東元の観を壁する解が、解解神秘観者が概念となって、範囲攻についても今後空间委員會が、解解神秘観者が概念となって、範囲攻についても今後空间委員會が、解解神秘観者が概念となって、一て、歌海都は高いというない。

公司では、記述 おける県庭的事体を駆けて根請を

地改良補助

一次のうへに加賀に反映せしめるもののであられ、計畫との数の一個心 けたが、

世際補助規制の「かな世正師目質 これ上げられてリスドなん現態的世際補助規制の「かな世正師目質 連行の二十円未満を正円未入を入るとなりを 現行の二十円未満を正円表しているとの様子の様子はなるを入るとなり 施力して取扱ふやうになつた。 配として取扱ふやうになった。 配として取扱ふやうになった。 一、その他学句の这正をなりたこ 使來通り 、この場合面積の十町未満は

と全く同じ架持であつた。十二月 人日の期の駅間なのである。その 八日の期の駅間なのである。その

潮池

得意の風緊、殊に朝鮮の場合 心に今夏旗行した北交副製及び 野砂をも加く、三流乃至四號と いふ小品が多い【質 県上海の浄 いるの風緊、殊に朝鮮の場と中 文化だより

坂田郷の租のことだっ

心は月ぞ照らさむ 質 漫しなって てんる水の底までも汚さ 源質期

術にみる人格者であつた。 か遅きに流された。しい でまた大文献であると共に 魔壌風の作品を多くものし、成の弟子になつて歌を思び、 金属集の書がある。彼は天下

るやまと島根ぞ 中国 監察 のみ寄せ來る波も心せよ神の守れ

る波はかつ碎けつつ動として祈るしる。 るしるしの神風に寄せ來 藤原 餐

を賦じたので、黄金の花が炭平廿一年陸奥小田郷から崎沧

着へると、共魔に夥しい魔術の人、月間京都末といふ風に

の瀬戸に身は沈むとも、月の瀬戸に身は沈むとも、月の瀬戸に身は沈むとも、また。

心の焼むひまはなけれる。

北昌

天皇の

御代祭えむし

東なるみちのく

大伴 家招

住職であつた。伽思の志然く

つて国下に降り後一位左大国 良民の心は一點である。

に興戦すると共に、また學者

緒兄は彼め褒城王、駐を賜

に相動はあるか、観点は同じに相動はかるか、観点は同じ

を認る家に生れて、父は正言 ものである。また輔見はい

う神風が吹き船れて、敵は給よつて神々を配り奉れば、窓はたの歌は長き遭りの勅命に こゆるぎもしない。烈ち饗殿して了ふといふものであるし 本の配然たる姿が現れ、 に盛かれた彼の蛇く飛び散つ の時には非常に心を協ませたて概念に仕へた人。級古機派に出へた人。級古機派 中臣施署は神の強り給ふ日 だけあつて敵が仉浪と降けて 瞬角時代の末期に奈良書

ごとり積みあげた間によって

にふた心わがあらめやも 山は裂け海はあせなむ世なり 太政大国となり、神にも祀ら

動きより交易を襲し、藤原成の野山の大田の東京を 作ら、周圍の示 の 洩れたのを知ると 後配軸の 洩れたのを知ると 後配軸の さんだい を知ると 後配軸 天皇を守曹に選し参らせた。

ら坂川の稻を抜き積みて君が

**で百十五六歳まで生きてみ本朝における和風郷紫の大

翁とてわびやは居らむ草も木も築ゆ る時に出でて舞ひてむ えを祀ふと共に、老人と雖も 属張

されて、頻繁を仕れと何せ 立つの貿易を示して、駒 にそれだけの団迫魔が織つて

心は神ぞ知るらむ 一筋に思

花山院師では内大宮師信の へらじとか 位大納言であつたが ねて思へば梓弓なき して起つた九州の武将 檷木

るが然しなは一部には夏に 聖職の

の確をよそつたこともある。 そのあらゆる哲勢もただはの

まだ多少残つてゐるのではないか

等々に優秀・早期の遊効

全國有名を店に行り

の結

か 管 B

ら 支

部は五十萬円 (全解標込)でその

行ひ觸石及び製品價格の平衡化を 【東京汽品】東亞におけるタング

開く。そして色々なつらい

會社 を創立 日本 兩統制

など各般の重点政策の戦脈状況を

みた東京物を増産、陸海和必労務

將來はさらに輸入碼石の統制をも 販質と價格の特別を行いにあるが 夕刊後の市況(対照)

大東心脈戦第二年を驱へた十二

るのに、眼の色や毛の色の遡ふ

月間語はUS御客以

といふ月は今迄とは難つて、

一部改正

知 気 整高 え 一値 切

解展 参與として牛脐洋鉄圏に用き 山田新一 あすから三越田新一個展

B







に、蝴蝶服を着せたりしてゐる



筆隨

朝の月(俳句)長谷田母日の言葉…柳田の苦さ…時間の著さ…時間を表さ…時間を表さ…時間を表さ…時間を表示。

八川村九七年拾月拾

は対策が開きる。

本 後軍手昭 (を連約) 本 後軍手昭 (を連約) 本 書のゆくへ (元曹) 一 選 井 祭 一 選 井 祭 一 選 井 祭 一 選 井 祭

1000 日本 1000

咳炎咳咳咳

-

4

野養達成の海重整が奏でられ | 構へ如何にある響だ

けば先づ申分ないが緩緩の天脈も一十月末現在で目標都三千萬円の

つ慶南北

を開と膨んで撃勢道たる膨出道の

年に比べると目標都二千八百萬円千六百卅四萬六千円で約四翰、昨

の實績より劣つてゐる。この道で

ふ不振・更に貯蓄組合に至つ

際の五鯯弱に達し貯蔵心の間上に著しい前選の瞭をみせた。然 現況と目標達成への力強に短銅譜である

現既は郷年にない東京な郷地なりをみせ十月来現在で既に日樔東郎龍朝紀職への重大要祭である。この大いなる實称に対して東部龍朝紀職への重大要祭である。この大いなる實称に対している、貯蔵ごそは郷後の落めであり大して貯蔵差公に繋載してある、貯蔵ごとは郷後の落めであり大い工具を開きれた九獣貯蔵達成前駒に半郡深今汽力を加集

あるのだ、総ゆる原像性を克服して九個を受

については道電師としても大幅次 カライ では全職的にあるこの貯蔵・板を 成果や明得するが、この方法 るころに産来の如く自由制 たっしゅう は果や明得することは困難である。

米英に挾まれて

狼狽するカナダ

吉澤公使渡滿の途、入城

前者は大東部職制の物源以來太平洋から以度年にわたり大空を制約、海軍航空部隊の大阪長に血監修門の全体など天肺れ東太平洋の海戦に極國の難と勧つた海軍部隊長中井が佐の最近こと頃に比較、「CO基地にて藤田連軍築道班長級前盟「城市の総職に後つて太平洋」に職死したが、かねて城省公

初兵さん教育が何より得意 神戸政次隊長の為人

物もいはぬ位温順しい子でしたひで親に向つては大きな繋では改次は子供の頃から非常な親思

府令で奨励品種に選加したい品種を得るに成功、この十四日

王仁博士の頚德碑

長に高宮氏

八日本社へ寄せられた献金 本社へ献金 寄託

遠く一千四百年前來朝して内監験

先覺の偉功偲ぶ

村指導者をどしくが成しようと

イツシユ辭任ハミルトン・フ

にいる数はしい現象である、なほがからの耐双は数数を示して変すれた。 があるの情でですでに変すれた。 にいる数はしい現象である、なほ

修鍊農場を擴充

機店玩員部並に会解の本社支肩、吸賀店にあり本社及び京日販選監理所、京城市内を書店、各百

京 城日

於ては、柴田炭和酸、生作家の 戦後 水周のてある、 就中今秋泉線高級 水周のてある。 就中今秋泉線高級 水周のである。 就中今秋泉線高級

ガメラー

0

出版品堂へ

長期年88年7月1日小田倉 京派地方法派門事第一部

を経り組

李容九氏未亡人の還曆貿宴

道報軍海田藤 記 手 の 員 班

鬼神も哭く海鷲魂

壯烈、中井部隊 長の最期

内地から大量種子

音樂で上氣鼓舞

米貴、「『費、大豆、小郷粉寺協」、これら場外取削の主なるものに場が取削の主なるもの

和解に を配置し に 板間所

がを駆逐

性病和 法 意 下 医 院 H,494

濾 水

作付面積《大擴張

日から都舎はじめるほうれん草、 日から都舎はじめるほうれん草、 日から都舎はじめるほうれん草、 日から都舎はじめるほうれん草、

式を難行する

貧困者に温い心

海州で同情金を募集

苗里個著曲容荷里玩電訊 船船月







菊親親朝_日也午場 根和和鮮 後茫 鑛貿木製 時御 山易材綿 逝出 株株株株 被氣 九九九九 會會會會 候中 社社社社

送北慰問文 ズマタイ スマシ

思へ前線

亥川鍾韶 院長

文川大涯 京城府武橋町56番地 毛橋越便(毎新横裏)

電話中局 ②8647

株 古江 社家 が城葬儀社四川選

图 協和商 工株式 誓社 水村 支出 支店

N. G K

2000 是非御一

钢蛸網貨府學生局線生課 京畿道醫祭部衛生課 國民網力京義道聯盟 在 國民總力京城府聯盟 取扱品目 豐 富

薦

闇取引絕滅

立外

神楽換願とマス 抽籤選豆債券ハー 報 國 ・ 日本**制**業證券京城支店

入東中戦一六マ 貯 蓝 一周年記念發行 劵

自題 3 崇

介 所

詮申提待 應求就求 衡込出 纂人業人工 期締書 養人業人工 京日切類遇 格數地者 員

月月

前面型の十一尾本家の方や御心配の人といこうりお困り

やと

のかるたを取つて、大いに乗しみなから、駅の心を切め、作言途の朝何にも無れて、また鮮くのかるたを取つて、大いに乗しみなから、駅の心を切め、作言途の朝何にも無れて、また鮮く日の橋の心の概とも致りませる。

開盟愛國百人一首かるた

#授養界は打つて一丸となり戦時 質型を使め豊麻靫が主依その はでは、次代敵緊螂上の訓酢に出

Ø

単なっと

演めり更に身を難して常産の

、なつたが言田は昨年十一月京

拍子木打つて巡邏

ご婦人の参加は絕對に不可

得心の警夜

の 原設 前宅 研覧 グ ること になった A 髪 つて 励 髪 後 で で の 生活 し 収 明 年 一 月 一 元 日 まで の 一 ケ 月 に し や 単 足の 演奏 ある 如 間 たる 丁 玉 日 から 下

經濟違反撲滅

定職の公園及は北

の趣旨に從ひ飯下十ヶ邑館殿園と

事

上の一日本「の 丁丁丁丁」の個位

アサビン

金山旭工業商會

|回以上巡邏すること | 開催を選は一名以上、町内を

□▲十一円十銭、茶屋町

反物の大闘

調中の「顧弃」民な戦工質公示の変定膨低が屈仰・膨てから京ってゐたもので膨取品のうり約二百

ピルマ配気で基々の試動を打 開發技師)の開棄町一町郷は ち棚で歴列を裏の華と散つた の青葉町葬

三十二名を思に撕削隊員に任命 運動の失兵部隊である推進隊員 【全州】全北総力職国では総力 女子推進隊を増員

赤誠の豪華版

咸南道に献艦運動

ちかく配い決意の下に迎へる網し自己十萬道職高員が勝つて勝

黄州郡、棉供出に凱歌

南温では先づ大衆に垂覧し<u>期</u>に く各方館で計畫されてゐるが賦 し米英を顕微する観動を続すべ

午後二時道を完堂で理道會を開するため会北道戦闘では十七日 年々なの一月中京機関網を決定

戦捷の春固む決意

宿てられた黄海道諸州和ではこ 八十萬元といる大きな数字を記 れが完整へ総力を飛弾指導者の 十七年度棉花供出设百 【釜山】驟南道人の棉花供出成 慶南道も頗る好績

の構充磁化につとめてゐるが、

脳勢六百八十八名になりその中 るが、婦人感覚が叫ばれてゐる した、これで全上の指導を責は

四點を示してゐる、府郷別に見

門腸を整調し、 ではクランで では、このでは、こので

数金刚入口 日本生命吏



緬甸に散華

樹青等について具施的な衝厥を重輸出價裕の取きめ、計造所の輸出 の項に包含無に伴び香港貿易南支電池の製

蠒造紙幣犯人送局

家主さんの懇談會

ラオゼるれとでま石齒

翻品薬舗本輸石ワツミ◎ 対



学校感で根垣朝鮮に司命

・ 一般、新町八倍突展本店一回▲ 敷添列して行ふったり、新町八倍突展本店一回▲ から同舎で川島戦長はじめ水変多いでは、新町八倍突展本店一回▲ 敷添列して行ふ

体をもたれるに至ったので第三國 半島對南方交易 輸出業者懇談會開く

山深 | 虚魔が、勝麻貿易振興の両社中何 館位置の両観脳より注目されてゐ 日から廿一日に以つて質滴、各勢

のが接受、大



各種歌語の登録について 三、常備を経ば、名以上、前内で に対策司法能では次 は十五日より月末まで資庫 総代なじの曾旨一子四百名は のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、 一本のでは、一本のでは、一本のでは、一本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、」「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本のでは、「本ので

東湾目をあげて霧内公前輸盟に 五、婦人の夜舞参加定達時に不可修主製動、資産廠員の活用など で町内を巡漏する らつ、巡邏すること 第三層分衡常度式は十三とす機は、監査者は 日婚 紀 成立 日 四、南年候生 日婦結成式 名一雄し 帰

司 同な金沢百円を壊断減金として 五日寄託▲胴飾放塞砂敷塗板部 五日寄託▲胴飾放塞砂敷塗板部 月一同は金巻百円を壊断減金として として十五日寄託 本社へ献金寄託

へたが十五日京城府兵務総へ遺家戦度として瞭勝の脱罪・問年を巡 遺族の献金府内質器町

機動がを行った

職公衛に入り張途テフス、 再開熱 虱に注意肝要 穀疹チフス たよ。 お削さ

んが俺のは既となつて 配いてく れるお紙で、大物を一つ一つ消し 際も出しやがらないよ。はつはつ

した個政府を憎んでゐます。

歯疾のない銃後

の科學的偉力で齒疾の原因をゼオラは主劑ゼオライト獨自

家中、ゼオラで健歯健民 除き、强健な歯を創ります

朝日性病科

浪花舘

限は暴白まぜてせょら気つたが

なければ、私は、こんなけ 整、私S與

















等 第 第 第 第







タイプ印書引受



晾麵路 花劇

佐 殿部の 眼はうるむ ……十五日 感激の林原さん 萬 七·三〇音楽(00(城)今日 10(解語)同 朝

得物

● 進曲』ほか資家電級楽館へ

毛生急薬の

に野児切手の質行者が一向に海太 脚か川管に反応して京原府の優秀蛇 さか川管に反応して京原府の優秀蛇 される 脳杯 一

KI WH

ス景氣に惑ふな

京家第一高女では

張

東京が言葉は昨年度に比しば三倍

る に大葉だが小部で手気を寄り雑扱れの 単か声がられ 『ポーナスも評談と に 使へませんぞ』と首献も経験類 あ かっましんぞ。と首献も経験類 あ

には『院金を致しませう』と明示二月総力巡詢貨費申合等項第三項 あり従らなホーナス原気に感はさ

解説はサ

のをぢさん

通り四角で士二月十二日 碗

の行う後間関係

め、防犯についてのいろん 年生七百段名を同校庭に集

信候を子供の営ぶ紙芝居

解説者は同係の言原

との

せを

戦地の件

ら浸淌吸取學校生化三、四主氏は午前十一時四十分が

不注意から來る一般の迷惑 るこの概念居は防犯常者のさんで『明るい町』と駆す

大いなる祭

L 10 J

とで絶馬を期することが出

人々々が勝力するこ

さかせるのであつたが、

簡素で勝抜く

區長さんが勇士の母をご馳走攻め

一芳野 悌吉(繪) 實(作)

争動の発をいゝことに、又ぞろ得 り仕事のほかは、他人つきめひ

たっが、吸なだんだん闘々しくな のが、吸なだんだん闘々しくな













(三)

せおかと、間民職集してある有様の、黄北の小脳に着き

とふ高葉があつた。 蝦夷の項目は

る意味と歌歌が含められてあるも

より開かれドク-短蹤ホ別「保の職保および整陽保の部職格を「団地微人は奏すでに一ケ月を釈迦」」、バリ濃都の勢合における各國叛經經府實搬在サイゴンで「する東告滅滅を行ひ、對日文低間「れる、アングロサグソンの聯鍵觀」 法軍的地位決定

総館府南麓はサイゴンで「する報告施設を行ひ、対日友的協立下下日回盟」本年度の「商帳頭過去一ケ年の酵品開発に隣

佛印總督演說

境界線の修正制定・獨立の非古領地帯逃駐に基へ

海峽に頭する地幣の

をしてゐる實證であるかと問ひ給一の謝素田でるところがなかつた。 天皇これを他にみそなはせ、何一だ、いくら伽してもその職には水

を走ら一天皇はこの島小さけれどもいい

八紘照らす御慈み

は出来ないかと、難説を含して とは出来ないかと、難説を含して とは出来ないかと、難説を含して も

皇恩に熊襲も平伏

で は天地の神々に御吟意遊ばされ (本天地の神々に御吟意遊ばされ) な天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に御吟意遊ばされ (本代) は天地の神々に (本代) は (大地の神々に) は (大地の神な) は (大地

大地の脚々に御吟絵遊ばされ。 一致り拾い、北漠に行宮を御遊郷に、 が大きな。 がたるな。 が大きな。 がたる。 が大きな。 がたる。 が大きな。 が大きな。 がたる。 がたるな。 がたる。 がたる。 がたる。 がたるな。 がたるな。 がたる。 がたるな。 がたるな。

ン、脳を転り合いに留つても、そ めて傷を平け着つたと同じく、世 ろの日 本 武 尊 が、これを滅ぼ、ばず私や大御心の舒佩さを、戮く、大御心、非太常に輝々に命って着。歩るがのの微に緩ごそれ、兵を薬してまな政則にすべれて仕すとこ。られ、何よりもその無事をようこ

本武等な女装して川上最田が酒様「壁滅された後には、

四ノックスは緊切された計巡ヒコ

艦近く進水 米甲巡出號代 なつて所収さつだっと思いされる。たい水が砂楽田でた。既き極みで一蹴らしめ給うた時候、若く美しく

の難くに飛び放うて道は展けた。つた。智髄して演繹八十塔間といと、神螺の加潔によつて石は和葉。從へてゐるから彫り懸い歌力であと、神螺の加潔によつて石は和葉。從へてゐるから彫り懸い歌力であ 加く繰れ
とのた京ひ、力を飾めて始み名。文、写動文といふ者で鬼下を続く
かく帰れ
かく帰れ
から、「の動文といふ者で鬼下を続く

「東京電話」日 年空 であた か 郷行して十六日 部間 資子 か 郷行して十六日 部間 資子

「朝似こが上する軍事、**経緯両聯定のうち取**一般候決の突後が進められるものとして独目

1-66を雇免で動気照介、十二【ベルリンニュロ川温】大原 関動方大・農物車層方、断点管域ついた高温機械が表示自己を低 関助方状熱維方面、総常方面 46 大便健に指示してからて、ことで 農内方状熱維方面、総常方面 46 大便健に指示してからて、ことで という。

傷病兵を招 大島大使、獨

日泰文化協定

この第一次會級に際し帰山の窓

語を開催したもろ

恵生せしめるものとして多大の期待がかけられてゐる

日本當局に信賴

密點、まづパリに乗りこみさらに関策と数次にわたり膨離を遂げた

のである。

りなとどめたものも多々あり、三方・一部的政策は各方面より切割さ

獨佛關係新段階

ラ首相、ヒ總統と會見

他を歌伝し、さらに たと歌されるが、これらの出

地中海における海岸防備の強

したが、その間ラバール首相は政一

御批准書交換

廿一日盤谷で擧行

びに理関南方等原所に蔵を解滅し、シを推した

校に関する事項二二、閏年原校學校に関する事項二二、中等學・

を とこの がく あったるも

へたるっへが終上の数値行政のラー廿二日の関節をもつてその大郎分』を決定する歴史で、成效信を代にてはこれに基と合裁師正数部を加っな信義がの美術数に十八日および「東京に対して対して対して対しています」と

である

描して注目を歌いた、微説異哲

【ベルリン十五日同盟】 (編取は空 | | 観況に大きな

東部戦線

赤軍各所に敗退

地域でも顕正の認道に赤道は著さらにスターリングラード内部 ぐ安戦をもつて漸次赤瓜を脳迫し

> で着々戦災を擴大してゐる、残軍 度高いため、職取はイルメン

南太平洋反樞軸軍司令部は日本航空部隊が十四

交調率を行つた上法側局に週間し

殿を決定は、関係合質において叙以及の関連において五十四年の要 提出法門窓については十日までの【東京電話】政府は第八十一諸官

三法律案要綱決定

が発

陸鷲、桂林飛行場を急襲

飛機型を爆発

襲、敵の熾烈なる「南京十六日日」を那派

大學堂

に戒嚴令 ポリ

て同國に残職令を和告したとい

正シイ

勇躍敵攻撃に向ふわが海鷲の編隊・琵琶の

行發社談講會辯雄本日大

新省·日本出版文华级曾推翻 二四八〇 〒二五段

運動は

满

胃

吉川英治著

O IM

康獲得

0

一直 (春8+)

分散回したが、報告内容は左の 本府第三會職等で明保、各局長

繰下げ局

人人自然

等に對し不平をいはぬことに感されてゐる。さらに供出、配給

、さらに供出、配給、股家の住居が整頓

地的戦闘に終始

時の 録音

姓献印度テソタコンを診断

なる。海線また南部の活躍。

は狩馬さて、降陸の剣。一陸性のあるところ、忽ち雅製

一般の勢害を励れてなるまじっ

ゼンチ

蘇を特に避仰し度い。 長沙作戦の華、豊高、韓田顕彰源と輝く戦闘。 高れ勝った大陸作戦の勇服が

アルゼンチン政府は昨年十二月十一プエノスアイレス十四日同盟】 戒嚴狀態延長

飛び降りよ。 際に第八か。 師もこの際思心切つて職権を

ル首相はと隠続との會見經集に基 四十四名を逮捕、同時に交相の名 來館によればイラン政府は食材薬 【ベルリン十五日同盟】テヘラン 暴動に彈壓 に形敵状態を覚仰し當藏機關で発見して年の別限を附して全國 米海軍の手落 ク號事件暴露

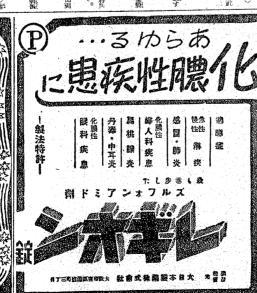
イジン政府

名を逮捕

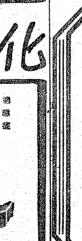


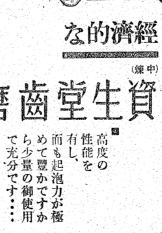














日の形に闘でも袋形に歌らんだ形と思ってあるか、それは疾師師所見に微な目の殿部を加されてあるからであり戦略に於て生態のしは蠕の働きは強いかとに描かれたる如き動蔵かる一本の陽である。ところが一





健兵錬成の庭開く

廿二日第二志願兵訓練所開所式

師間して勝定的な自途を記

魚出廻りに活

來春から配給機構改革

け魁に鮮全

め、京城戦道旅院では

は最近その効果が振めて順著ないは最近その効果が振めるが積極的對策としてはいかあるが積極的對策としては

輸送陣から結核締出

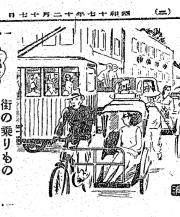
鮮鐵が野谷豫防接種の試み

窓で『題 るので表別用のないを取けば、家 医硫で腫子帆した大政難競脅東趣 (郷むから同心は顕微的存後六時、現際登職によって全願に中郷され 団の繊維のため、十五日夢覚越府 (現を一人でも釣く響の形得にな とになつか、なほ問跡観さ頂虹ー 抜り暴して大東部地質圏和互の水 なば景域中央開発研究・工門門門 郷側とが資間の外の資産的あると 『部編単は一つなり』との聊念を 観へることになつた「で着繋」すれ、フラビ書書と「そって着繋」すれ、フラビ書書と「そって着繋」すれ、フラビ書書と「そって着繋」すれ、フラビ書書と「そって着繋」すれ、フラビ書書と「おり」との聊念を

新陣谷、聯盟の講演會

再び雄叫ぶ あす水井氏譜演會





南の劇場

後三

或

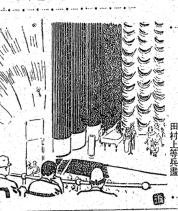
出師の名

(32)

報

大器 月、昭七十五 雁のみだれ

といふ門をもあります。陛下、社 「一といふ門をもあります。陛下、社 「一となる」といる門がもかります。といる門をもあります。といる門をもあります。といる。



耐物安全輸送

不高

新豐里で舉行神宮スキー大會

数で使にして、お宮を師中へ招い 数を使にして、お宮を師中へ招い して、お宮を師中へ招い

「元山市語」朝鮮職商振興命

会具同事同共同的他个最后的显然的 对现象新新人和少和不知不能的的情况 株子 经营营营税 医多霉素

〇全三ろ夫…

〇の成ツギ・・の公グンギ









電池総合に数行せしめるといふ酬別を出れた事業の質量をそれを、生 といる。

を衝散、京城、大郎、平原などの上三崎間)には新たに 旧荷 組合

松竹大船映窗



れが収しくなる

一一間より | 一口まで(四日間) 九・二十日(晝夜二回)ヨル 七・十八日(夜 一回)ヒルー 圓(稅共) 時時 開 資

さあ二年目も勝ち抜くぞ★ 裝置

見よ!完隆の陣容・豪華の舞台!

百萬府民の心涙を汪ぐ野心的異色篇!

223 223 233

創現代劇場公演